

文部科学省認可通信教育
(第4種 定形外郵便)
令和7年10月発行

放送大学滋賀学習センター

樹 滉

緑豊かな環境

真理のしたたり

第137号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL.077-545-0362

FAX.077-545-2096

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

「そもそも「金融」とは何なのだろうか?」(滋賀学習センター客員教授 田中 英明)	1
「式 辞」(滋賀学習センター所長 太田 善之)・「謝 辞」(教養学部 生活と福祉コース 奥村 真矢)	2
卒業生のことば、卒業生・入学生の状況	3
セミナーのご案内	4
事務室からのお知らせ	6



そもそも「金融」とは何なのだろうか？

滋賀学習センター客員教授 田中 英明

「金融化」は、現代の経済や社会における構造的・歴史的な変化の一つである。そこには実体経済の成長をはるかに上回る金融部門や金融市場の拡大、企業経営における株主価値の重視、そして家計・世帯における負債への依存や金融的思考の浸透など、実際に様々な変化が含まれている。

総じて金融化という捉え方は、金融をカジノと同一視しないまでも、実体経済に対する「虚業」と捉える認識と結びついてきた。ただ、図が示すように〈金融部門の肥大化した国は成長率が低い〉といった単純な関係にはない。

だが実際、繰り返されるバブルと金融危機はいうまでもなく、金融的収益は資産格差を拡大し、株主価値の重視は企業経営の短期志向化や、雇用の不安定化、賃金の抑制をもたらすなど、金融化した経済社会は厳しさを増している。

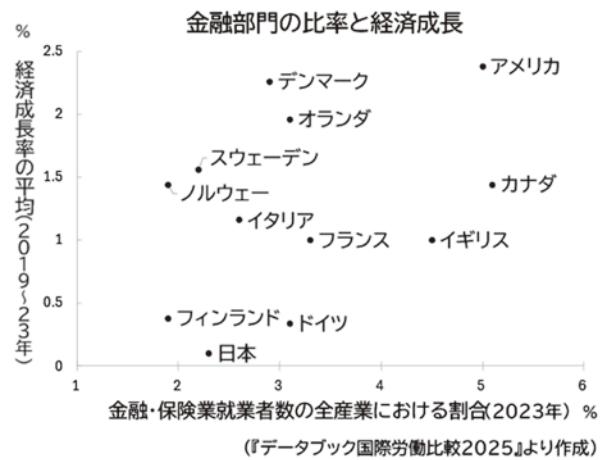
そもそも「金融」とは何なのか、実体経済の維持や成長とはどのような関係にあるのか、振り返っておこう。

①商品貨幣と高利貸の世界：互いに疎遠な者同士が偶発的に出会う市場という場では、価値を内在する物品が交換手段としてお金（商品貨幣）となる。生産や生活を維持するためにはあらかじめ貨幣の用意が必要であり、金貸しという「金融=お金を融通する」活動も生じる。だが、貸倒れの危険がある中で利得を確保するために、また担保とした土地等の資産の収奪も狙いとし、金貸しは「高利貸」の姿をとることになる。そのため、利子は人々の暮らし（実体経済）を破壊するものとして、多くの宗教などでも敵視されてきた。

②信用貨幣の世界—決済と短期金融：他方で、市場の世界でも、継続的に事業を営む生産者や商人たちは、遠隔地交易における委託販売、両替商や預金銀行の預金などの形で、様々な信用=債権債務関係を築いてきた。大市による為替手形の決済機構、銀行による手形割引と手形交換の仕組みなど、債権を譲渡して債務との相殺を可能にし、残された差額についても債務として繰り越すことで、匿名的な現金取引による制約を乗り越えてきたのである。伝統的な共同体で、贈与による債権債務関係の形成が、債務の解消を動力に新たな贈与を生んでいくように、市場でも擬似共同体的な関係の下で、〈債権債務の発生と相殺〉という決済と短期金融の仕組みが実体経済を媒介している。「信用貨幣」とは、単なる金の代用物ではなく、自らの債務を解消するために求められ譲渡される債権=信用なのである。

③証券市場の世界—証券化と長期金融：しかし、決済資金の過不足の調整という金融の仕組みは、機械設備への投資など返済に長期を要する資金の融通にはそぐわない。一般に金融のイメージには株式市場も含まれるもの、株式会社そのものは融通ではなく共同出資の仕組みである。しかし中世イタリアのような一航海ごとに完結する事業ではなく、永続的な企業としての共同事業となると出資金の引き揚げの困難が資本結合の妨げとなる。証券化した持ち分である株式を自由に売却できる流通市場によって、いつでも出資金の事実上の回収が可能となり、単に有利な運用を求める性格の資金も含めた多様な資金を集中しうるようになったのである。社債の場合には、その発行自体は資金融通そのものだが、やはり証券化による流通市場の成立で、貸し付けた資金の固定化を避けるようになり、長期の融通に多様な資金を呼び込めるようになった。いずれも流通市場での証券売買そのものはお金の融通ではなく、実体経済に資金を調達する証券発行を支える限りで、流通市場も金融の一環と呼びうるのである。売買双方が同意すれば、どんなものでも証券化、商品化して売買することは不可能ではなく、「金融商品」の流通市場は実体経済の維持や成長を媒介する金融とは無関係でもありうるし、商品先物の取引による商品市場のリスクヘッジや、レポ取引による短期金融など、実体経済との関係は単純ではない。

このように、実際に多様な主体が様々な思惑で行動し、その結果として実体経済の成長を媒介する機能が発揮されたり、逆に実体経済の崩壊をもたらしたりするのが金融の世界なのである。金融化していく経済・社会の明日を考えるために、そうした機能の変化や連続性を丹念に読み解いていく必要があろう。



式　　辞

滋賀学習センター所長 太田 善之

皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。本日ご臨席を賜りましたご来賓、ご家族、ご友人、関係者の皆様とともに、心よりお祝い申し上げます。

今日、卒業式を迎える滋賀学習センター所属の方は 16 名ですが、皆さんの背景は様々でしょう。そして、入学された動機も多様であったと想像できます。思い描いたように学業がすすまなかった時もあると思いますが、皆さんは学びを止めることなく、ひたむきに努力を重ね、こうしてこの晴れの日を迎えるに至りました。その強い意志と不屈の精神に、深く敬意を表します。



さて、学長からの祝辞にありましたように開学以来、先進的な学びの場を提供してきたのが、ここ放送大学です。皆さんも通信手段を利用して多くはリモートで、またそれに留まらず、時に面接授業によって対面で講義を受けてこられたと思います。面接授業は他の学習センターへ出かけても受けられますから、全国に広がっている放送大学の「キャンパス」を訪れて受講された人もいると思います。さらに、皆さんの中には、今日初めて滋賀学習センターに来られる方もいれば、今日の卒業式をご欠席なさっている多くの皆様の中には、一度も学習センターに来ることなく、無事卒業された方もいるでしょう。そこまで考えれば、皆さんは今享受しうる最高の学び方を駆使して、最先端の知を追究する放送大学の教員から、多くの知識を授けられた学生として卒業する、というたぐいまれなる栄誉を得られたと自負して良いと思います。

今後皆さんは、それぞれを取り巻く新たな環境の中で、得られた知識を活かす場へと旅立ちます。「環境」といえば、それ自体また刻々と変化しており、今日という日もまた入学した当初、自分自身が想像した将来にはなっていないかもしれません。抽象的にいえば、気候風土などの自然環境、政治経済、生活様式、文化などに関わる社会環境も常に変化しています。しかし、自分の中に蓄えられた知識とは、そうした変化にも対応し、切り抜けるためのものですから、恐れることなく存分に発揮してください。

皆さんは得られた知識を使って、「成功」を目指して大きな高みに挑むことでしょう。ただし、「成功」とはまた多くの場合、自分の身近にあることもあります。その結果、自己満足がまずは大切ですが、それ以上に他者を思いやり、配慮するという事も考えてください。自分の言動は必ず他者を巻き込んで、「波紋」を呼びます。だからこそ、一歩先まで考えることが大切です。そうした先を読む眼や考え方、得られた知識の中にあるはずです。それらを駆使して、迷いつつも、自分らしい正解を導き出す、ということが大切だと思います。皆さんであれば、必ずそれができるものと確信しています。

どうか、卒業生の皆さん、これから始まる新しい人生を、力強く積極的に切り開いて行ってください。皆さんの健康と幸福、そして輝かしい未来を心よりお祈りし、私の餞の言葉といたします。

謝　　辞

教養学部 生活と福祉コース
卒業生代表 奥村 真矢

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な式典を挙行していただき、誠にありがとうございます。卒業生を代表いたしまして、厚く御礼を申し上げます。

私が、滋賀学習センターを知ったのは、結婚でキャンパスの近くに引っ越してきたことが、きっかけです。

学生の時から、心理学に興味がありましたが、結婚してからは、子どもが小さい間は子育てに忙しく、学ぶ余裕もありませんでした。

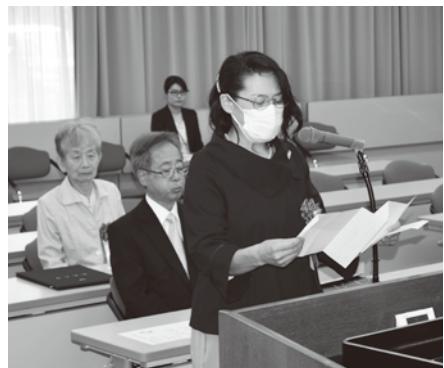
入学のきっかけは、義理の母の介護と家庭の事情が重なり、パートを退職したことでした。家での時間は増えましたが、働きに出ることもできない。しばらくは家族のために、時間も労力もおしまず生活していました。しかし、自分の人生、本当にしたいことは何かと考え、今が学びのタイミングだ！と一念発起し、全科履修生として3年次編入での入学をさせていただきました。

放送授業や試験を受けていると、小、中学生の子どもが「ママ、何の勉強をしているの？」、「楽しいの？ 勉強頑張って！」と声をかけてくれたりしました。認定試験中に、義理の父の介護で呼び出され、試験を途中で断念したことも、今では良い思い出です。

放送大学での学びは 10 代、20 代の学びと異なり、今まで経験してきたことや考えていることを、学びを通して改めて考え、学び直すことができることです。そこに、大人になってからの学びの素晴らしさがあると、日々感じます。

四月からは選科履修生として再入学し、学びを続けながら、看護学士の取得目指して、頑張っていこうと考えています。

最後になりましたが、放送大学滋賀学習センターの更なる発展と、お世話になりました所長はじめ職員の皆様のご多幸をお祈りいたしまして、卒業生代表の謝辞とさせて頂きます。ありがとうございました。



令和 7 年度 第 1 学期 卒業生のことば

2025 年度第 1 学期に卒業される皆さんからメッセージをいただきました。

「学びが自信に変わる時」

情報コース 太田 哲彦

この度、情報コースを卒業することになりました。AI が身近なものとなり、これからはプログラミングの知識が不可欠と考え入学しました。アルゴリズム、C 言語演習、数値解析を学び、簡単なプログラミングが自作できるようになりました。仕事に対する自信につながりました。ありがとうございました。

「学べる幸せに感謝」

人間と文化コース 甲斐 正信

三度目の卒業認定を受領いたしました。家族と年金のおかげで継続させて頂いております。単位認定書を広げてみました。覚えていない科目名も多く、これは専門科目なんだと改めて認識する次第です。好きな科目を選んで学べる幸せに心より感謝しております。



「初めての大学卒業」

心理と教育コース 杉山 順子

放送大学に入学したのは ある相談員講座で心理系の方々から学んでの活動 9 年目でした。毎月継続研修はあるものの、心理について学びを拡げたくなり、本学に来ました。知らない事を学ぶのは楽しいですね。先生方スタッフ皆様に感謝しています。

「卒業に寄せて」

自然と環境コース 鈴木 廣美

今回が四度目の卒業です。近年は加齢もあり知的好奇心の維持が難しくなっています。それだけに、学ぶ喜びや充実感こそがこの状況を打開できると信じて、さらに新しいコースに取り組みます。感謝と遊び心を忘れず、体力、集中力、理解力の衰えに再挑戦です。

「恐惶謹言」

情報コース 外池 真

昭和 75 年に入学し、四半世紀。昭和百年に六回目の卒業。関係者各位に感謝。老瀬のむかふ机に秋の塵、文机の秋塵ぬぐひ筆をとる。無聊もて余す夏逝く。友よ来よ。老ひて得し友こそたふとし。秋暑し、ながらへて卒業の日をまた迎ふ。来迎の雲かも秋の落暉抱く。

「学べる時間は有限。何年かかっても」

生活と福祉コース 前田 由佳梨

8 年半かかりましたが、卒業できました。ありがとうございました。今後はさらに別の学びを考えています。人生、最期の一瞬まで学びなのだと、この歳になり感じる日々です。ありがとうございます。



令和 7 年度 第 1 学期 卒業生、第 2 学期 入学者の状況

今年度、第 1 学期は 16 名の方が放送大学を卒業されました。また、第 2 学期に滋賀学習センターへ入学された方は、10 月 1 日末現在で 121 名になりました。

年代別にみると、29 才以下 = 30 人、30 代 = 23 人、40 代 = 28 人、50 代 = 13 人、60 才以上 = 27 人となりました。

ちなみに、入学者の最高齢は 88 才でした。職種別では人数の多い順に、教員(25 名)、会社員等(18 名)、看護師等(12 名)、公務員・団体職員等(11 名)、パートタイマー(8 名)などとなりました。

令和 7 年度第 1 学期卒業生 <教養学部>

生活と福祉コース	5 名
社会と産業コース	1 名
自然と環境コース	2 名
心理と教育コース	2 名
人間と文化コース	1 名
情報コース	5 名
合 计	16 名

セミナー のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。
以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センターウェブサイト及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



【会計学入門セミナー】入門簿記：初心者向け

太田 善之 所長

簿記をまったく勉強したことない人のために、簿記の初步にあたる内容を説明します。5回を目途に実施し、8桁精算表を作成するまでの簿記一巡の流れを確認します。

10月 2日	木	13:30～15:00
10月23日		
11月 6日		
12月 4日		
1月 8日		



【保健医療と社会セミナー】

伊藤 美樹子 先生

健康・病気と保健・医療の分野における問題を、行動や生活、家族や集団、職場や家族、制度・政策との関わりや社会・文化の影響から考えてみたいと思います。

10月15日	水	10:15～11:45
11月12日		
12月10日		
1月14日		



【基礎化学セミナー】身の回りの化学

糟野 潤 先生

身近な生活の中には化学が深く関わっています。化学の基本である「元素の周期表」が完成する前から、化学の研究は盛んに行われてきました。演示実験にいくつか取り組んで、化学の世界を楽しんでください。

10月17日	金	10:15～11:45
11月 21日		
12月12日		



【文化遺産学セミナー】考古学からみる文化遺産の諸問題

金 宇大 先生

本授業では主に考古学に関わる視点から、世界遺産に登録されている様々な文化遺産を具体的に取り上げつつ、これらと関連する様々な問題について解説を加えていきます。

10月 8日	水	13:30～15:00
11月19日		
12月17日		
1月16日		



【日本経済論セミナー】日本の経済社会の現状と課題

田中 英明 先生

今期は財政や金融を中心に、日本経済の現状を振り返りながら、明るい展望に向けた課題を考えていきましょう。

10月15日	水	13:30～15:00
11月12日		
12月10日		
1月14日		



【栽培学セミナー】冬野菜の生理・生態と栽培技術

森 太郎 先生

実際にご家庭で畑やプランターを使って様々な冬野菜の栽培を行ってもらいます。皆さんの栽培体験を持ち寄り、冬野菜の生理・生態と栽培技術について学んでいきましょう。

10月 3日	金	10:15～11:45
10月24日		
11月14日		
12月19日		



zoom
Online

【オンライン(Zoom)セミナー】



【関係者への心理的支援セミナー】関係者支援の基礎としての家族療法

吉川 悟 先生

「関係者支援」の実践の基礎となっているのは、家族療法・システムズアプローチという心理療法で、その基礎的考え方から実践的な働きかけのポイントを紹介します。

10月 7日	火	13:30～15:00
11月11日		
12月16日		
1月 6日		



は Zoom によるオンライン開講です。以下のいずれかの方法で参加できます。

- ①ご自宅でPCやタブレットからZoomに接続する
- ②ご自宅にインターネット環境がない方：滋賀学習センターで受講する※

※事前に申し込みが必要です。定員および受講方法は以下のとおりです。
定員3名：パソコンを使ったWEB受講

詳しくは放送大学滋賀学習センターウェブサイトをご覧ください。

学習相談会について

所長および客員教員が学習相談に応じています。ご希望の方は・・・

- ①事務室窓口横のラックにある「学習相談会申込書」に必要事項を記入し、事務室に提出してください。
 - ②原則、セミナー終了後の学習相談会での相談となります。それ以外での相談の場合は、日時等を調整後、ご連絡いたします。
- ※所長への学習相談は、随時受け付けていますので、お気軽に窓口までお申し出ください。

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、通信指導の提出、単位認定試験、インターネット配信、図書・再視聴室の利用期間、それぞれの手続きや分からぬときの本部問い合わせ先などについてご案内します。

第2学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システム WAKABA に登録されていることが必要です。
大学本部での登録後、所属学習センターで発行することになります。
 - * 学習センター等を利用する場合に必要ですので、学期開始後から余裕をもって手続きにお越しください。
 - * 有効期限を超過したり退学等により学籍を失ったりした場合は、学習センターに返還してください。
 - * 学籍が継続する場合は、有効期限を超過した学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。
- ※詳しくは、「学生生活の菜」学部：23 頁～25 頁、大学院：34 頁～37 頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- * 「入構許可申請書」は「利用の手引き」最終ページに綴じ込んでいます。必要事項をご記入いただき、切り離して窓口にご持参ください。「入構許可証」を発行します。
- * 入構許可証は発行年度のみ有効です。

学割証の発行について

全科履修生・修士全科生・博士全科生のみ利用できます。(選科履修生ならびに科目履修生は対象外です。)

①自宅の最寄り駅から学習センターに通学するための回数券(定期券不可)を購入できます。

- * JR 西日本(2 割引)瀬田まで購入可
- * 京阪電車(2 割引)京阪山科・京阪大津京・京阪膳所・京阪石山まで購入可
- * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
- * 学割証の有効期限は、発行日から 1 ヶ月です。

②自宅の最寄り駅から他学習センターの面接授業を受講するため、大学本部に通学するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道 100 km を超える場合のみ)

<科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。>

- * JR(2 割引) 例：瀬田→(米原経由)→海浜幕張
- * 有効期限は、面接授業等の初日の 10 日前から終了日の 5 日後です。

※詳しくは、「学生生活の菜」学部：128 頁～129 頁、修士・博士：128 頁～129 頁を参照ください。

面接授業の追加登録について

■空席発表：10月17日(金)15:00

■対象者：令和7年度第2学期に学籍のある全ての全科履修生・選科履修生・科目履修生

■追加登録期間・申請方法

- ①事前申請受付：空席発表～10月22日(水)13:10(申請書を郵送する場合は 10月22日(水)午前必着)
滋賀学習センターウェブサイト(Google フォーム)または滋賀学習センター窓口または郵送での申請
- ②先着申請受付：10月23日(木)15:00 以降科目ごとに定められた受付期日まで
滋賀学習センター窓口・電話・メールにて(支払方法に関わらず)、追加登録を申し出た学生から優先して先着順に受け付けます。

※詳しくは、滋賀学習センターウェブサイト「滋賀学習センターからのお知らせ」を参照ください。

※空席数については、システム WAKABA、または滋賀学習センター掲示板をご覧ください。10月23日(木)15:00 以降は、システム WAKABA で空席状況をリアルタイムで確認することができます。

通信指導の提出について

通信指導とは、放送授業が行われる科目および一部のオンライン授業科目について、各学期の途中に一回、前半の一定の範囲から出題された課題について、その解答を提出することです。(原則 Web 提出)
通信指導に合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。

1. 実施方法概要

- Web 通信指導による提出のみで実施します。(郵送提出科目※は除く)
 - ・インターネットを通じて、提出期間中、いつでも自宅等から提出することができます。
 - ・時間制限はありません。1 回目の解答提出が採点の対象となります。
 - ・通信指導の「問題」を事前に確認する方法 (10 月上旬アップロード)
システム WAKABA→授業サポート→授業共有ファイル
 - ・通信指導の提出 (お試し版もこちらから)
システム WAKABA→学内リンク→Web 通信指導
- 郵送提出科目 (10 月下旬に大学本部から問題冊子等送付)
 - ・自宅等で解答を作成し、郵便で提出する方法で実施します。
 - ※「市民自治の知識と実践 ('21)、「文学批評への招待 ('18)」、「日本美術史の近代とその外部 ('18)」、「空間と政治 ('22)」のみ

2. 提出期間：提出期限を超過した場合は受理されません。

Web 提出	11 月 6 日(木)10:00 ~ 11 月 26 日(水)17:00
郵送提出	11 月 12 日(水) ~ 11 月 26 日(水) «必着»

※郵送提出は、郵送提出科目及び Web 通信指導による提出が困難な場合に限ります。

3. Web 提出が困難な方へ

- ・単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り本部より通信指導冊子を送付します。
※詳しくは、「学生生活の栄」学部：67 頁～72 頁、大学院：72 頁～77 頁を参照ください。

単位認定試験について

2025 年度第 2 学期単位認定試験 (2026 年 1 月実施) は、Web 受験方式 (一部科目※については郵送受験方式) にて実施します。

1. 実施方法概要

- Web 受験方式
 - ・自宅等から、インターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出を行います。
 - ・1 科目 50 分の制限時間があります。(一時停止不可、1 回のみ受験可能)
 - ・科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の) 併用式」のいずれかの形式で出題されます。
- 郵送受験方式
 - ・1 月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
※「行政学講説 ('24)」、「正多面体と素数 ('21)」、「日本美術史の近代とその外部 ('18)」、「量子化学 ('19)」の 4 科目のみ

2. 試験日程

単位認定試験期間：「実施方法」・「出題形式」により試験期間が異なります。

Web 受験科目	記述・併用式科目	1 月 18 日(日) 9:00 ~ 1 月 22 日(木) 17:00
	択一式科目	1 月 18 日(日) 9:00 ~ 1 月 26 日(月) 17:00
郵送受験科目	すべての出題形式	1 月 18 日(日) ~ 1 月 22 日(木) «必着»

3. Web 単位認定試験体験版について (試験期間前)

実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、受験に使用する予定の端末から、単位認定試験期間までに、必ず体験版を操作しておいてください。

◆ 単位認定試験体験版アクセス方法

- ・システム WAKABA の TOP 画面右側、「学内リンク」から「Web 単位認定試験」をクリックします。

4. 自宅等での Web 受験が困難な方へ【要申請】

ご自宅にインターネット環境がない、またはパソコン操作が困難等の事情により Web 受験が困難な方は、事前に申請を行うことで、単位認定試験を学習センターで受験することができます。

◆学習センター受験申請方法

①システム WAKABA で変更

- ・「教務情報→変更・異動手続→単位認定試験受験場所変更」

②単位認定試験受験場所変更願(「学生生活の栄」巻末様式 15)を郵送提出

- ・申請期間 2025 年 10 月 1 日(水)～10 月 31 日(金)

- ・申請宛先 〒261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11 放送大学 学務部学生課 単位認定試験係 行

5. Web 単位認定試験の操作体験会について

2025 年 11 月下旬～2026 年 1 月上旬にかけ、学習センターで、Web 単位認定試験体験版を用いた操作体験会を開催いたします。学習センターで受験する方は、原則、操作体験会にご参加ください。(日程につきましては、後日、滋賀学習センターウェブサイト、掲示版などでご案内いたします。) ※詳しくは、「学生生活の栄」学部:72 頁～82 頁、大学院:77 頁～86 頁を参照ください。

単位認定試験実施日までに大学本部から郵送される資料には、試験中に使用が認められる物品等の重要事項が含まれますので必ず目を通してご確認ください。

放送授業のインターネット配信について

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常に通信費がかかる場合があります。通信費のかからない Wi-Fi 環境等での視聴を推奨します。

※システム WAKABA - 学内リンク - 放送授業のインターネット配信

図書・再視聴室の利用について

■ 利用内容：○図書資料の閲覧 ○印刷教材の閲覧 ○放送教材の視聴

■ 利用時間：9:15～17:45

■ 図書の閲覧：図書資料は、書架から自由に取り出して閲覧できます。

■ 図書の貸出・返却

大学本部の附属図書館を利用することができます。図書の貸出を希望する場合は、放送大学の OPAC で蔵書の検索・貸出予約ができます。

※詳しくは、「学生生活の栄」学部(110 頁)大学院(110 頁)もしくは附属図書館のホームページ(<https://lib.ouj.ac.jp/>)をご確認ください。

※学習センター閉所日や開所時間外での大学本部附属図書館の図書資料の返却は、4 号館 1 階玄関前に設置の返却ポストをご利用ください。

■ 閉 所 日：○毎週月曜日・祝日

○年末年始臨時閉所日 2025 年 12 月 28 日(日)～2026 年 1 月 4 日(日)

■ ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室には持ち込まないで、ロッカーを利用して下さい。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用する際には投入口に 100 円硬貨が必要ですが、使用後 100 円硬貨は戻ります。)

また、図書・再視聴室内にメッッシュケースを置いていますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッッシュケースの利用は当日限りとします。

学友・同窓会主催の文化祭および公開講演会について

日 時：2025 年 11 月 1 日(土)午後～11 月 2 日(日)終日 【本年度は 2 日間開催】

学友・同窓会主催の文化祭会場：龍谷大学瀬田キャンパス 4 号館

<11/1(土)13:00～16:00> 各種イベントを開催予定

<11/2(日)午前> 作品展示、図書リサイクル市、映画観賞会、昼食懇談会、作品解説など

<11/2(日)午後> 滋賀学習センター主催公開講演会

　　演題：「『源氏物語』と石山一觀音靈場の創造力—」

　　講師：龍谷大学 学長 安藤 徹氏

　　終了後、茶話会など

※今年も、滋賀学習センター 2025 年度公開講演会とタイアップして行われます。学友・同窓会、学生の皆さんよろしくお願いします。



スケジュール



		10月		11月		12月					
日	曜	内 容		日	曜	内 容		日	曜	内 容	
1	水	第2学期放送授業開始(～1/13) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(～10/19)		1	土	学友会(かいつぶり)文化祭(第1日目) 2025年度卒業研究報告書提出期限		1	月	閉所日	
2	木	【セ】太田 13:30		2	日	学友会(かいつぶり)文化祭(第2日目) 第1回公開講演会		2	火		
3	金	第2学期オンライン授業開始(～3/2まで閲覧可能) 【セ】森 10:15		3	月	閉所日(文化の日)		3	水		
4	土	2026年度大学院博士全科生・修士全科生入学者 第一次選考(筆記試験)		4	火			4	木	【セ】太田 13:30	
5	日			5	水			5	金		
6	月	閉所日 集中科目履修生(司書教諭)単位認定試験課題提出期限		6	木	第2学期通信指導提出期間(～11/26) 【セ】太田 13:30		6	土	面接授業	
7	火	【セ】吉川 13:30(オンライン) zoom Online		7	金			7	日	面接授業	
8	水	【セ】金 13:30		8	土	面接授業 2026年度大学院博士全科生入学者第二次選考(面接試問)		8	月	閉所日	
9	木			9	日	面接授業		9	火		
10	金			10	月	閉所日		10	水	【セ】伊藤 10:15 【セ】田中 13:30	
11	土			11	火	【セ】吉川 13:30(オンライン) zoom Online		11	木		
12	日			12	水	【セ】伊藤 10:15 【セ】田中 13:30		12	金	【セ】糟野 10:15	
13	月	閉所日(スポーツの日)		13	木			13	土	面接授業	
14	火			14	金	【セ】森 10:15		14	日	面接授業	
15	水	【セ】伊藤 10:15 【セ】田中 13:30		15	土	面接授業 2026年度大学院修士全科生入学者第二次選考(面接試問)		15	月	閉所日	
16	木			16	日	面接授業 2026年度大学院修士全科生入学者第二次選考(面接試問)		16	火	【セ】吉川 13:30(オンライン) zoom Online	
17	金	面接授業空席発表(15:00) 面接授業事前申請受付(～10/22 13:10) 【セ】糟野 10:15		17	月	閉所日		17	水	【セ】金 13:30	
18	土	面接授業		18	火			18	木		
19	日	面接授業 滋賀大学附属図書館利用申請締切		19	水	【セ】金 13:30		19	金	2026年度大学院博士全科生、修士全科生入学者第二次 選考合格通知 【セ】森 10:15	
20	月	閉所日		20	木			20	土	面接授業	
21	火			21	金	【セ】糟野 10:15		21	日	面接授業	
22	水			22	土			22	月	閉所日	
23	木	第2学期面接授業追加登録開始(先着順) (科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで) 【セ】太田 13:30		23	日	閉所日(勤労感謝の日)		23	火		
24	金	【セ】森 10:15		24	月	閉所日		24	水		
25	土	面接授業		25	火			25	木		
26	日	面接授業		26	水	第2学期通信指導提出期限		26	金		
27	月	閉所日		27	木			27	土		
28	火			28	金			28	日	臨時閉所日(冬季)	
29	水			29	土	面接授業		29	月	閉所日 年末閉所日(～12/31) 年末年始学習期間(特別授業等)(～1/4)	
30	木			30	日	面接授業		30	火	閉所日	
31	金	2026年度大学院博士全科生・修士全科生入学者 第1次選考合否通知						31	水	閉所日	